



無添加石けんは 環境にやさしい!



大切な人が使うもの、きちんと選びたいですね。

選ぶ基準としてひとつは、「やさしさ」と思いますが、みなさまが考える「やさしさ」とはどのようにお考えでしょうか？

そのような中で、福岡県宗像市の離島・地島の全島民が合成洗剤をやめ、全てをシャボン玉石けん（無添加せっけん）に替え、環境への影響の調査を行った結果、島の下水道処理から放流される水に含まれる有機物が減り、水質が改善されたそうです。

そこで、環境にやさしい無添加石けんについて調べてみましたのでご紹介いたします。

石けんや合成洗剤の定義と環境問題

まず始めに、無添加石けんや合成洗剤といったものが、どういう意味なのかを理解することが重要です。

消費者庁によると、合成洗剤とは「界面活性剤又は界面活性剤及び洗浄補助剤その他の添加剤から成り、その主たる洗浄作用が純石けん分以外の界面活性剤の界面活性作用によるもの（洗濯用は純石けん分以外の界面活性剤が界面活性剤の総含有重量の30%を超えるものに限り、台所用は40%を超えるものに限る）。」と定義しています。

やや難しい単語が並んでいますが、**界面活性剤**とは、石けんや洗剤、医薬品、化粧品、食品など幅広い用途で使用される化学品のことです。

そして界面活性剤の中にも、天然と合成のもの

があり、ここが石けんと合成洗剤の違いとなります。

結論から言えば、「**合成**」界面活性剤に、**地球環境に有害な物質が含まれている**のです。

化学物質を一切含まない無添加石けん

香料や着色料、保存料といった化学物質を一切含まない石けんを無添加石けんといいます。

肌に影響を与える物質やアトピーなどの原因物質も含まないため、肌に優しく、敏感肌やアトピーの人や皮膚の薄い小さな子どもにもおすすめです。





海や川などの汚れの原因

海や川などの水の汚れの原因としては、工場などからの産業排水や畜産などからの排水のほかに、台所や風呂・トイレなど日常生活の営みから出される生活排水があります。

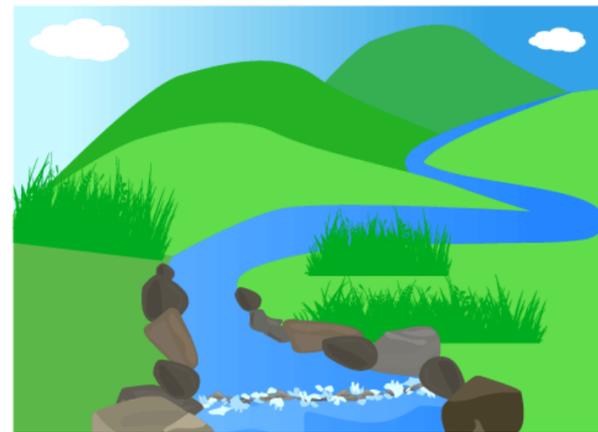
水の汚れは、かつては産業排水が主原因でしたが、工場などに対する規制が強化され、排水処理対策の進んだ今日では、生活排水が汚れの大きな原因となっています。

河川の水質については、長期的に見ると改善傾向にありますが、海域については長期的に見ると横ばいで推移しています。

伊勢湾などの外海水と水の交換が悪い閉鎖性水域では、河川に比べ改善が困難になっています。



ところが石油を原料としてできている合成洗剤は、分解性が悪く、一ヶ月近く分解されません。それどころか水を浄化する働きをもつバクテリアやイトミミズなどの微生物を弱らせたり殺したりします。その結果、本来自然が持っている水の浄化作用が弱まり、海や川の汚染は進んでしまうのです。



日々の意識が重要！

今回は無添加石けんを紹介させていただきました。

地球の環境問題に、人間の生活が関わっていることが実証され、世界的に対策が講じられています。私たちの身近な暮らしの中でできることはどのようなものがあるか、一度しっかり考えてみてはいかがでしょうか。それが「小さなこと」のように感じるかもしれませんがその取り組みを一人ひとりが意識し、行うことで世界中では「大きなこと」に変わっていきます。



環境にやさしい無添加石けん

排水として流れた石けんは、水と二酸化炭素に短期間のうちに分解され、カルシウムやマグネシウムなど水の中に含まれているミネラル分と結びついた石けんカスは、海や川にいる微生物のエサになり、生態系のサイクルを守るため環境を汚すことはありません。

ご意見・ご質問等ありましたら、担当者までお問い合わせ下さい。

 **イーパートナーズ株式会社**

 **0120-980-450** (受付時間 8:00~17:00)

TEL: 03-6450-1466 FAX: 03-5408-7575

〒105-0012 東京都港区芝大門2丁目12-6 芝ハタビル4F